

第1学年 道徳学習指導案

日時 平成23年 9月30日(金) 5校時
学級 1年3組(男子16名, 女子16名 計32名)
授業者 奥州市立東水沢中学校 高橋 康太

1 主題名 理想を求めて(1-(4) 真理愛, 理想の実現)

2 資料名 認められたグラブ(学研「かけがえのない きみだから」)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

本時の授業は、内容項目1-(4)「真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。」をねらいとした。

人は、自分の人生を切り拓いていく積極性と力強さをもつことが大切である。真理とは、だれも否定することのできない普遍的で妥当性のある物事の筋道、道理を指し、真実とはうそや偽りのないことである。そして、理想は、この真理や真実を探求した結果、自分の人生をかけて実現すべき価値を見出したときに強く意識されるものである。中学生の時期は、現実に対する認識が甘く、自分を過大視して高い理想を求めたり、安易に現実に妥協したり、集団の中に埋没して主体性を失ったりして、ときには人生そのものに絶望してしまうことがある。分からないことを謙虚に受け止めて探求し続け、生きることを意味を見出し、目標をもってよりよく生きようとする積極的な態度を育てることが重要である。

そこで、たとえ大きな挫折を味わっても、夢と志をもち、理想の実現に向けてよりよく生きようと努力すれば、いつかは実現できると信じる気持ちと態度を育てたい。そして、自分の力で自己の人生を切り開いていこうとする強さをもたせたい。一人ひとりの生徒が自ら納得できる真理や真実を求め、自己の生き方を探求し、自分の人生をかけて実現すべき価値を見つけていく意欲の育成を目指し、本主題を設定した。

(2) 生徒について

とても明るい雰囲気のある学級である。中学校に入り、初めての定期テストの取り組みや係活動、清掃活動など自分の役割に責任をもって取り組んでいるほか、自分で決めた部活動にもとても意欲的に取り組んでいる。また、学年での生活向上運動にも学級全体で声かけを行い、協力して取り組んでいる。しかし、活動にしっかりと取り組むものの、一人ひとりを見ると「このくらいでいいや」とか「ただやりさえすればよい」などの安易な妥協も見られる。現実と離れた理想を求めあまり、行動に移すことができていない生徒や、理想自体を描くことができていない生徒も多い。

本資料を通して、主人公の生き方から自らの考え方を深く見つめるとともに、自分の目標や夢の実現に向けて、絶えず高い理想を掲げ、自らの人生を切り開こうとする意欲を育てたい。

(3) 資料について

この資料は、イチロー選手のグラブ作りを担当している岸本耕作さんが、初めてイチロー選手にグラブを受け取ってもらう時の様子を書いたものである。イチロー選手のグラブ作りを坪田名人から任された職人の岸本だったが、喜びと緊張の中で作り上げた六つのグラブは一つも受け取ってもらえなかった。夢と焦りの中で、何度もグラブを修正したが受け取ってもらうことはできなかった。そんな苦肉の中で岸本は坪田名人の言葉を思い出し、新たな気持ちでグラブ作りに励んだ。2007年の夏、イチロー選手に初めてグラブを受け取ってもらったが、岸本はそれに満足することなく、理想のグラブを求めて邁進する。

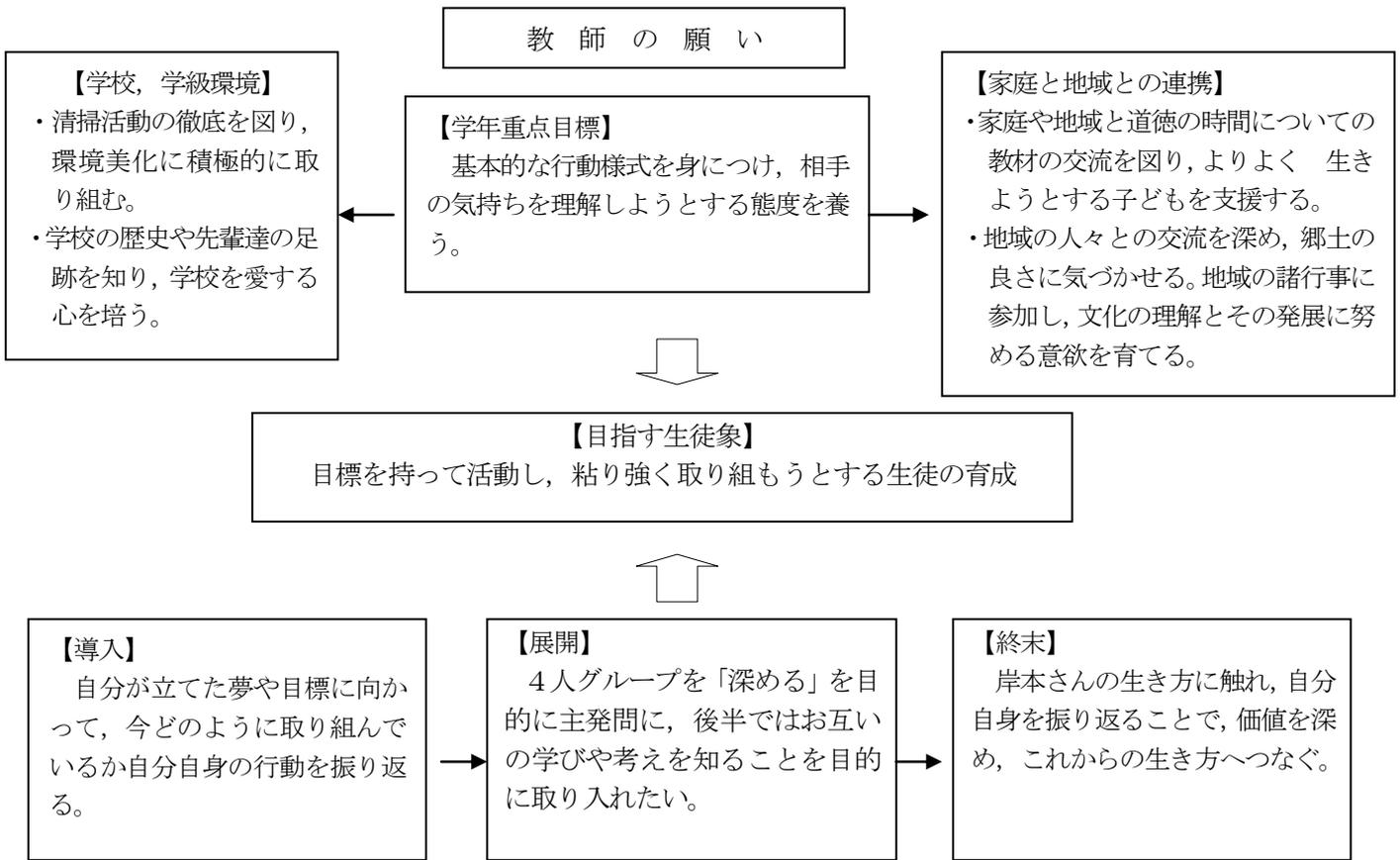
絶えず高い目標を掲げ、理想の実現に向けて努力を続けている、岸本の生き方に触れ、自分自身を見つめながら、志をもって生きることの大切さを伝えていくことができる資料である。

4 研究主題との関連

本校の研究主題である「豊かな心を育み、主体的によりよい生き方をめざす生徒の育成～お互いのかかわり合いを重視した道徳授業の実践を通して～」を実現するために、コの字隊形や小グループの活動を取り入れることで、お互いの考えや意見を交流しながら他者から学び、本時の価値に迫りたい。また、生徒の発言やつぶやきを教師がつなぎながら授業を展開していくことで、生徒の学び合いを深めたい。学びを深めることで、自己を見つめるとともに他者を認め、よりよい友人関係を築くことにつながっていくと考える。本時では、展開後段に4人グループの活動を入れ、お互いの学びや考えを深めさせたい。

5 指導の構想

「理想の実現を目指して、目標に向かって粘り強く取り組む態度」を育成する指導の構想



[本時を要として位置づけた指導構想図]

月	特別活動・体験的活動	道徳の時間	各教科等の学習	日常活動・その他
4月		◇主題名 やり抜く心 資料名「九番バッター」 ねらい：物事に勇気を持って取り組み、自分で決意したことを粘り強くやり遂げようとする意欲を高める。	[数学] 筋道立て表現する能力	・常に目標をもって生活するような意識付けをさせる
5月	[学校行事] 宿泊研修 達成感・成就感			
9月		◇主題名 理想を求めて 資料名「認められたグラフ」 ねらい：絶えず高い理想を掲げ目標に向かってよりよく生きようとする態度を育てる。	[学活] 社会の一員としての自覚と責任	・教育相談を通して、日々の生活目標の確認をし、評価やアドバイスをを行う
10月	[生徒会活動] 文化祭 理想の追求		[音楽] 学級で協力して1つの作品を作り上げる喜び	
1月	[進路] 主体的な進路選択	◇主題名 着実な進歩 資料名「実践目標は小さくみに」 ねらい：どんな目標でもそれを達成した時の喜びを知り、困難に屈せず、最後まで着実にやり抜く強い意志を育てる。	[総合的な学習] 職業の選択と社会への貢献	

6 本時の指導

(1) ねらい 絶えず高い理想を掲げ、目標に向かってよりよく生きようとする態度を育てる。

(2) 展開

段階	時間	学習活動と主な発問	予想される生徒の発言や心の動き	指導上の留意点
導入	2分	<ul style="list-style-type: none"> 自分が立てた夢や目標に向かって、今どんなことを頑張っていますか。 		<ul style="list-style-type: none"> 自分の行動を振り返る
展開前段	30分	<ul style="list-style-type: none"> 岸本さんについて知る 資料を読み、登場人物、状況をつかむ。 岸本さんの行動、気持ちを考える <ul style="list-style-type: none"> ○どんな気持ちで、イチロー選手のグラブを作っていたのだろうか ○グラブを受け取ってもらえなかった夜、一睡もできず考えていたことはなんだろう ◎岸本さんが忘れていた大切なこととは何だろう ○「まだまだ途中ですよ」と言って、笑った岸本さんはどんな気持ちだったのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 夢を実現することができた うれしい 良いグラブを作るぞ 残念だ どうして、イチロー選手は受け取ってくれなかったのか 何がいけなかったんだろう 自己満足のグラブではいけない 選手の要望通りに作らないと イチロー選手に認めてもらえるように頑張ろう これで満足なんかしない もっとよいグラブを作る まだ、自分の理想のグラブには追いついていない 	<ul style="list-style-type: none"> 岸本さんの心情や行動について注意しながら範読を聞く。 夢を実現できた岸本さんの喜びやうれしさに共感させる 満足いくグラブを1つも受け取ってもらえず、どうすれば受け取ってもらえるか悩んでいることをとらえさせる 自分の夢ばかりを追い求めるのではなく、選手のためにグラブを作ろうと岸本さんの気持ちが変化したことに気付かせる 目標に向かって、絶えず努力している岸本さんの生きかたに共感させる
展開後段	10分	<ul style="list-style-type: none"> 本時の価値に照らして、これまでの自分の生活を振り返る ○岸本さんの生き方からどんなことを考えましたか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 目標をもって生活していくことが大切 自分の目標をもち意欲的に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> 書く活動を通して、どんな生き方につなげていきたいか、深める
終末	3分	<ul style="list-style-type: none"> 教師の説話 		<ul style="list-style-type: none"> 今後への意欲を高める

7 資料分析表

資料「認められたグラブ」 主題 理想を求めて 1－(4) 真理愛, 理想の実現
ねらい 絶えず高い理想を掲げ、目標に向かってよりよく生きようとする態度を育てる。

主な場面	名人の後継者として紹介され、イチロー選手のためにグラブを作っているときの岸本さん	イチロー選手にできたグラブを届けに行くが6つのグラブを1つも受け取ってもらえず、その夜一睡もできないまま帰国してきた岸本さん	作ったグラブを受け取ってもらえない中で、名人から聞いた言葉によって、忘れていた大切なことを思い出し、以前とは違う喜びを感じながらグラブ作りに取り組む岸本さん	初めて作ったグラブを受け取ってもらい、活躍するイチロー選手。そこで満足することなくさらに理想を求めて物作りに励んでいこうとする岸本さん
主人公の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・名人に認められてうれしい ・夢を実現することができた ・イチロー選手に受け取ってもらえるグラブを作るぞ 	<ul style="list-style-type: none"> ・残念だ ・どうして、イチロー選手は受け取ってくれなかったのか ・岸本さんの満足いくグラブだったのに何がいけなかったんだろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の理想や名人の真似ではなく、選手にとってよいものを作ろう ・自己満足ではいけない。 ・選手の要望通りに作らないと ・イチロー選手に認めてもらえるように頑張ろう 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の理想にまだまだ追いついていない ・選手のためのグラブ作りを追い求めていこう ・これで満足なんかしない ・もっとよいグラブを作
学習者の意識	<ul style="list-style-type: none"> ・名人に認められてうれしそう ・イチロー選手に受け取ってもらえるように一生懸命に頑張っている ・グラブ作りを始めたころからの夢を実現することができてよかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・満足できるグラブだったのにどうして受け取らなかったんだろう ・夜も一睡もできないで、イチロー選手に受け取ってもらえるように一生懸命に考えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラブ作り職人として、大切なことを思い出して良かった ・相手のために作ることが大切だ 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢を達成したのに、さらに上を目指しているのはすごい ・グラブ職人としての理想を追い求める姿
意識の焦点化	グラブ作りを始めたころからの夢を実現できた岸本さんの喜びやうれしさに共感させる	満足いくグラブを1つも受け取ってもらえず、どうすれば受け取ってもらえるか悩んでいることをとらえさせる	自分の理想ばかりを追い求めるのではなく、選手のためにグラブを作ろうと岸本さんの気持ちが変化したことに気付かせる	目標に向かって、絶えず努力している岸本さんの生きかたに共感させる
主な発問	どんな気持ちで、イチロー選手のグラブを作っていたのだろうか	グラブを受け取ってもらえなかった夜、一睡もできず考えていたことはなんだろう	岸本さんが忘れていた大切なこととはなんだろう	「まだまだ途中ですよ」と言って、笑った岸本さんはどんな気持ちだったのでしょうか

8. 板書計画

